

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	えがお阿倍野区店		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日 ~ 2025年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 31名	(回答者数) 24名	
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日 ~ 2025年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数) 6名	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団活動や個別活動において様々な運動プログラムを充実させています。	様々な種目の運動(マット運動・縄跳び・キッズヨガ・サーキットトレーニング・ボルダリング・リズムダンスなど)をプログラムに取り入れることで、プログラムを固定化せず利用者が楽しんで療育を受けられる環境を提供しています。	指導員のスキルアップのための研修などを行い、療育の質を高められるよう取り組んでいます。

2	タブレット・カードゲーム・パズルなど様々なコンテンツを活用し、個々の課題に合わせてトレーニングを行う時間を確保し、楽しんで参加できるよう環境を設定し支援を行っています。	机上トレーニングにおいて、巧緻運動(ペグ指し・ビーズ通しなど)・タブレット学習(認知・言語トレーニングなど)・運筆・数字の認知・SST(ソーシャルスキルトレーニング)など、スタディタイムとして成功体験を重ね、自己肯定感を育めるようプログラムを提供しています。	指導員のスキルアップのための研修などを行い、療育の質を高められるよう取り組んでいます。
3	お出かけレクで事業所内では経験できない社会性や協調性を学べるプログラムを提供しています。	様々な経験ができるよう、毎回会議を行いプログラムを決めています。(動物園・体験型ミュージアム・味覚狩り・室内遊園地など)	地域交流などを強化し、新しい施設や様々な体験ができるよう会議の中で意見を出し合い療育に取り組んでまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の地域への認知が低い可能性が考えられます。	消防訓練やハロウィンイベントで地域との交流を行っていますが、事業所が開所し3年と年数が浅いため、周知されていない可能性があります。	地域の方と連携を深められる様々なイベントを企画し、周知することで今まで以上に認知してもらえるように努めてまいります。
2			

3			
---	--	--	--